

若草

校訓

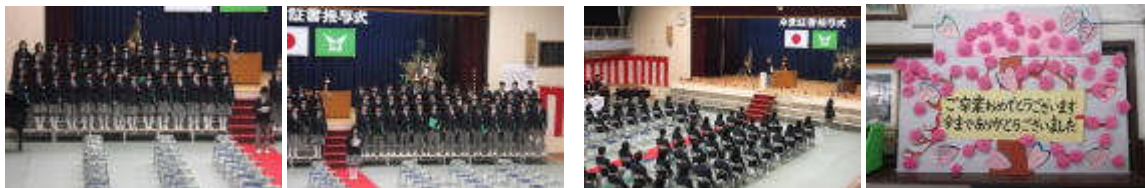


自立・創造

平成25年3月25日
尼崎市立若草中学校
学校だより(第16号)

<http://www.ama-net.ed.jp/school/J07/index.htm>

TEL 6499-9483 FAX6499-9486



1年間ありがとうございました。

第53回卒業証書授与式がおそかに終了し83名の卒業生が巣立っていきました。さすが3年生、当日は緊張しながらもキリッとした気持ちのこもったいい式でした。証書をもらう姿勢、話を聞く姿勢、最後の歌と言葉も気持ちが伝わってきました。入試という初めての試練を経験して、また一回り成長したのではないかと思います。先輩たちのいい伝統をしっかり受け継ぎ、さらにパワーUPした若草中を目指してほしいと思います。1・2年生は修了式を迎え、まもなく上の学年へと進級します。自分にとってこの1年はどんな1年でしたか?心も身体も成長したのでしょうか?自分がすべきことに全力で取り組みましたか?その成果が少しでも出ているのでしょうか?授業で学んだことが自分のものになっていますか?それらをしっかり振り返る春休みにしてほしいと思います。「いつやるの?」「今でしょ!!」のことばの通り、どれも今やらないと困ることばかりです。将来を見据えること...少しずつ現実が、初めての試練が押し寄せてきます。その波に押しつぶされないように根を張る時期が来ています。

地域清掃

18日の早朝、地域清掃を実施しました。崩れそうな天気でしたが



なんとか雨も降らず、たくさんのゴミの袋を抱えながら登校していました。学校周辺はゴミが多くて大変ですが、あちこちがきれいになって地域の方にも喜ばれました。

本当の意味での復興とは

3月10日杭瀬栄町スーパーセンター前にてチャリティーコンサートを行いました。雨と寒さで凍えそうな天気の中、懸命に募金を呼びかけ、熱のこもった演奏で温かい心を届けてくれました。震災から2年が経ちましたが、復興はまだまだといえます。行方不明の方の捜索も毎日続いています。不自由な暮らしの方々、あまり知られていない震災障害者の方々もたくさんいらっしゃいます。自分たちにできることは何か、自分たちがすべきことは何か、真剣に問いかけて実行する必要があります。



奇跡の一本松の話

岩手県陸前高田市の高田松原は、東日本大震災の10メートルを超える大津波に呑み込まれ、ほぼ全ての松がなぎ倒され壊滅した。その際、奇跡的に1本の松だけ倒れずに残り、この松は震災直後から復興のシンボルと捉えられ、「奇跡の一本松」「希望の松」「ど根性松」などと通称されるようになった。残念ながら松は腐食してしまっただが、復興のシンボルとして残すことになった。その松からクローン技術で苗木の4本が育っている。長男ノビル、次男タエル、三男イノチ、四男ツナグ。アンパンマンで有名な、やなせたかしさんが名前をつけたそうだ。困難を乗り越え、新しい松原の再生につながってほしい、との願いがこもっている。この苗木も大きくなったら松林に戻される予定である。大金をかけて一本松を残すことに賛否両論があるが、少なくとも震災を風化させないために一役買ってくれることは間違いないと思う。

学校評価(教職員より)

課題...本年度の研究テーマを意識した日々の実践や教育活動がやや弱い。単元ごとのテストや振り返り、家庭学習を定着させる指導、道徳の授業の確保と計画通りの実施が不十分である。校外での研修への参加が少ない。

いいところ...授業が計画通り進んだ。評価規準、見通しを持った授業ができた。生徒との積極的な関わりを心がけた。始業時間が守られている。保健管理、安全防災教育ができています。(詳細データは次ページをご覧ください。)

学校関係者評価より

この1年の本校の教育活動の課題解決に向けてアドバイスをいただきました。評価はおおむねBでしたが、項目別では昨年度より厳しい結果でした。決意を新たに一丸となって取り組みます。

学力向上に生徒に直接勉学の魅力や必要性を感じさせる授業にするため相互の研修や情報交換、工夫等されるべき。勉強が楽しくなる工夫が必要。小テスト等で点が取れる喜びを感じさせるなど。不登校に関しては初期の対応が大切。体育大会の土曜開催がよかった。身体や心を養う体験活動がよい。教師の姿勢が波をおこす。目標実現のために、生徒の心をより深く耕す作業が必要で、そのための指導者のプラスの工夫が必要。

【改善への方向性】・一番の課題である学力向上に関して学校全体で方策を練る。

- ・放課後学習などの取り組みが授業とリンクするよう教材を工夫する。
- ・部活動だけでなく、生徒会活動(自治活動)で生徒の自主性や社会性や意欲を育む
- ・心の育成や社会力をつけるための体験活動やキャリア教育をより充実させる

BFC解散式

21日に1-1が東消防署の方に救急法を学



びました。今回は2回目でしたが、突然の事故や災害の際にどうすればいいかを知る機会になりました。

今年度最後のたよりです。1年間、季節と共に子供たちの成長ぶりを身近に感じ一喜一憂する幸せな日々でした。ご支援、ご協力ありがとうございました。

校長 佐藤 喜代子より

【卒業生の進路】3月22日現在 83名中

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|-----|
| 公立推薦 | 11名 | 特色選抜 | 3名 |
| 国立推薦 | 1名 | 公立一般(全日制) | 40名 |
| 公立一般(定時制) | 受検予定含む | 7名 | |
| 公立一般(通信制) | 1名 | | |
| 私立高校 | 受検予定含む | 16名 | |
| 就職 | 3名 | その他 | 1名 |

学校評価(教職員アンケート)より

数値は人数を表す。

(A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない)

| | A | B | C | D |
|--|---|----|---|---|
| 1 教育目標・研究テーマ・学校運営 | | | | |
| (1)「生きる力」の育成について効果的な学校運営ができたと思う。 | 0 | 15 | 4 | 0 |
| 教育目標「自ら進んで粘り強く活動し(意)、目的を持って意欲的に学習に取り組み(知)豊かな心と思いやりを持ち(徳)心身ともに健康な(体)生徒を育成する」は良いと思いますか | 4 | 14 | 2 | 0 |
| (3)教育目標が日々の実践に生かされていると思う。 | 1 | 13 | 5 | 1 |
| (4)研究テーマ「新学習指導要領を踏まえた授業の工夫改善と自治活動の推進」が、日々の実践や教育活動に生かされていたと思う。 | 0 | 14 | 5 | 1 |
| (5)校長にこんな学校をつくりたいという経営のビジョンが感じられる。 | 1 | 17 | 2 | 0 |
| (6)学校運営に教職員の意見が反映されていると思う。 | 1 | 16 | 3 | 0 |
| 2 学習指導 教科・道徳 | | | | |
| (7)授業が、年間計画通りにできた。 | 6 | 10 | 3 | 0 |
| (8)生徒に評価の基準を示し授業の見通しを立てさせることができた。 | 2 | 16 | 1 | 0 |
| (9)客観的な評価基準のもと信頼性のある評価(評定)ができた。 | 2 | 14 | 3 | 0 |
| (10)単元ごとに確認テストを実施し、自己チェックシートで学習の振り返りをさせることができた。 | 1 | 7 | 9 | 1 |
| (11)自分自身の授業について、工夫・改善できた。 | 1 | 15 | 3 | 0 |
| (12)授業の決まりは徹底させることができた。 | 3 | 12 | 3 | 0 |
| (13)宿題やその点検、確認テストなど家庭学習を習慣づける指導ができた。 | 1 | 9 | 8 | 0 |
| (14)道徳・人権の年間指導計画に従って道徳の授業ができた。 | 1 | 7 | 7 | 0 |
| 3 特別活動・学校行事・課外クラブ | | | | |
| (15)「総合的な学習の時間」で、「探求する力」を育成することができた。 | 1 | 10 | 6 | 0 |
| (16)家庭訪問は、保護者との連携・信頼関係作りや、学校の説明責任を果たすなど、効果的に実施できた。 | 2 | 12 | 2 | 1 |
| (17)修学旅行・宿泊学習の企画運営は三年間を見据えたものになっている。 | 1 | 13 | 4 | 0 |
| (18)体育大会・文化発表会など保護者・地域を招いての行事の運営はこれよりよいと思う。 | 1 | 11 | 5 | 1 |
| (19)生徒会活動の企画運営はこれよりよいと思う。 | 1 | 14 | 1 | 1 |
| (20)学年(学級)として、生徒の自主的な活動の場を与え、社会性・感性・主体性を伸ばすことができた。 | 2 | 10 | 6 | 0 |
| (21)部活動にかかわり、生徒の「生きる力」を育成することができた。 | 4 | 7 | 6 | 1 |
| 4 特別支援教育 | | | | |
| (22)本校の特別支援教育体制はこれよりよいと思う。 | 1 | 13 | 4 | 1 |
| (23)特別支援(基礎学級も含む)の生徒の共通理解を深め、個に応じた適切な指導・支援ができた。 | 1 | 12 | 5 | 0 |
| 5 生徒指導 | | | | |
| (24)本校の生徒指導体制はこれよりよいと思う。 | 1 | 14 | 2 | 1 |
| (25)各学年とも共通理解のもと、生徒指導対応ができていると思う。 | 2 | 12 | 4 | 1 |
| (26)遅刻指導・風紀指導など基本的生活習慣の育成を図れた。 | 2 | 10 | 5 | 1 |
| (27)保護者対応や関係機関対応に関して管理職も含めた報告・連絡・相談ができていた。 | 2 | 16 | 0 | 1 |
| (28)長欠生徒や別室生徒への指導がきめ細かくできたと思う | 3 | 13 | 2 | 1 |
| (29)不登校担当・スクールカウンセラー・心の教育指導補助員・訪問指導員との連携がよくとれていたと思う | 3 | 10 | 4 | 2 |
| 6 進路指導 | | | | |
| (30)進路指導体制など学年の計画・運営はしっかりできていた。 | 1 | 14 | 3 | 0 |
| 7 保健管理 | | | | |
| (31)緊急時の対応が、組織として迅速・適切になされていたと思う。 | 7 | 11 | 1 | 0 |
| (32)保健室との連携が緊密にとれ、保健安全面の指導が適切になされた。 | 7 | 12 | 0 | 0 |
| (33)学校保健教育体制はこれよりよいと思う。 | 7 | 12 | 0 | 0 |
| 8 職員・研修 | | | | |
| (34)自分の書類・ファイル・データは適切に管理し、処理できていた。 | 2 | 13 | 4 | 1 |
| (35)生徒に積極的ににかかわりふれあいを深め、信頼関係を築く努力をした。 | 4 | 13 | 3 | 0 |
| (36)チャームと同時に授業を始められた。 | 6 | 11 | 1 | 1 |
| (37)各委員会は活動の目標を明確にし、活動していましたか | 0 | 12 | 6 | 0 |
| (38)成績データや個人情報などに関して、記憶媒体の扱いも含め、セキュリティは安全だった。 | 7 | 11 | 2 | 0 |
| (39)校内研修に積極的に取り組み自身の資質向上に役立てられた。 | 4 | 11 | 5 | 0 |
| (40)校外の研修に積極的に参加し資質を高め成果を教育実践に生かされた。 | 2 | 9 | 8 | 1 |
| 9 安全防災教育 | | | | |
| (41)人間尊重に基づいた人権教育の視点で、生徒に安全教育ができた。 | 4 | 13 | 2 | 0 |
| (42)不審者や事故への対応など危機管理意識を持ち、適切な対応ができた。 | 2 | 15 | 2 | 0 |
| (43)避難訓練や授業・クラブにおいて安全指導の徹底を図ることができた。 | 2 | 16 | 1 | 0 |
| 10 施設・整備 | | | | |
| (44)担当区域の安全管理を徹底し、施設や設備の不備を報告・修理した。 | 2 | 16 | 1 | 0 |
| (45)校内の美化を心がけ、担当教室などは整理整頓し適切に使用した。 | 6 | 14 | 0 | 0 |
| 11 P T A ・地域社会 | | | | |